

ひょうたけいけ

桜台小 学校だより
令和4年11月 2日
第39号



※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



6年生が修学旅行に行ってきました。

10月27日(木)、28日(金)の2日間、6年生は京都方面へ一泊二日の修学旅行に行ってきました。全国的に感染拡大の状況も少し落ち着きをみせ、計画通り京都方面への修学旅行へと出発することができました。秋晴れて天候も良く、銀閣寺 → 二条城 → 清水寺 → 梅山堂(昼食)・買い物 → 三十三間堂 → 聞法会館(宿泊) → 大徳寺・大仙院(座禅体験) → 金閣寺 → 龍安寺 → 東映太秦映画村(お弁当・見学)の順で予定通り訪問することができました。今回はその一部を紹介したいと思います(裏面に続きます)。

<出発式>

秋晴れの晴天となり、児童玄関前で出発式を行いました。私からは、①道徳的な行動が取れるように ②時間を守れるように ③体調を崩すことなく健康で元気に戻って来られるように、という3つの話をしました。実行委員の進行で出発式を終えると、2台のバスに分乗して、最初の見学地である「銀閣寺」へと向かいました。

<銀閣寺(1番目)>

銀閣寺は、室町幕府八代将軍の足利義政によって建てられたといわれています。江戸時代になってから、金閣寺に対し、銀閣寺と称せられることになったそうです。境内庭園は、多くの草木や山水などのコントラストがとてもきれいでした。子どもたちは、立ち止まって写真を撮ったり、移動して景色を眺めたりしていました。

<二条城(2番目)>

門が金色に輝き、とても優雅で素敵でした。建物の中を歩いている時に「きゅっきゅっ」とウグイス張りの音がして、江戸時代の人たちの暮らしの工夫が感じられました(長い年月が経ち、金具が緩んだことが原因との説もあります)。二条城では、建物をバックに学級ごとに記念の集合写真を撮りました。みんなの笑顔が素敵でした。

<清水寺(3番目)>

清水寺は、本堂を支える柱に釘が1本も使われておらず、木材が格子状に組み、建築が困難な崖の上に建てられていました。清水寺の本堂からの眺めは最高で、よくテレビ画面に出てくる光景が、そのまま目の前に広がっているようでした。三重の塔も色鮮やかできれいでした。子どもたちは立ち止まって写真を撮っていました。

<梅山堂(昼食)・買い物>

清水寺の見学を終えると、梅山堂で昼食(カレーライス)をとりました。昼食を終えると、清水寺へと向かう坂に並んでいるお店で買い物をしました。梅山堂には小学生割引の商品もあって、何を买おうか迷っている子もいました。3000円のクーポン券も使えたので、なかまとあれこれ考えて買い物を楽しんでいました。

<三十三間堂(4番目)>

三十三間堂の敷地は、すごくきれいな庭園で、当初の予定にはなかったのですが、学級写真の撮影も行いました。庭園をバスガイドさんを先頭に、学級ごとにまとまって歩きました。とても爽快な気分になりました。

<聞法会館(宿泊)>

道路の渋滞もなく、スムーズに1日目の行程を終えることができ、予定よりも30分ほど早く宿泊所へと到着しました。入館式で宿泊所代表者からのお話を聞き、部屋長会議をして各部屋へと入りました。夕食は多くの子がご飯のおかわりをし、宿泊所の職員の方から「ご飯のおかわりの分がなくなりました」と、言われるほどでした。夕食後は順番に入浴をし、部屋で自由時間を過ごし、22時頃に消灯、就寝をしました。

2日目は、6時に起床して身支度を済ませ、7時から朝食をいただき、その後宿泊所の退館式を行いました。

なかまと一緒に食べる夕食や朝食、各部屋での時間は、本当に楽しく充実した時間となったようでした。

<大徳寺・大仙院(座禅体験)(5番目)>

大徳寺・大仙院では、最初に座禅体験をしました。向かい合わせに座って、靴下を脱ぎ、あぐらをかき、両手を少し開いてお腹の前でゆびを合わせます。そして背筋をまっすぐにして姿勢を取りました。姿勢が崩れると和尚

(おしょう)さんから木の棒で「ピシャン」とたたかれます。和尚さんの足がとまり、たたかれる時には胸の前で両手を合わせて合掌をし、全身を低くして背中をたたいてもらいます。あちらこちらで「ピシャン」という音がしていました。最初は「痛い」という悲鳴や笑い声も出ていたので、和尚さんから「背筋を伸ばす」「笑わない」といった指導を受けていましたが、最後は静寂(せいじゃく)な時間が流れていました。多い子で4回ぐらい背中をたたかれました。普段の学校生活ではなかなかできない、いい体験をさせてもらいました。

座禅体験の後は和尚さんから訓話をいただきました。「学ぶ(勉強する)ことの大切さ」「ひとにやさしく穏やかに接することの大切さ」「学校でなかまと過ごすことの大切さ」等について教えていただきました。また『今こそ出発点』という文章を和尚さんの読み上げに続いてみんなで声を出して読みました(後に記述)。その後、抹茶体験をしました。抹茶をいただくときの作法についても教えていただきました。

<金閣寺(6番目)>

金閣寺は、建物の内外に金箔が貼られていることから通称「金閣寺」と呼ばれていて、室町幕府三代将軍の足利義満によって建てられたといわれています。当日はたくさんの旅行者(修学旅行生)がいて、はぐれないように学級ごとの集団で移動しました。ゆっくりと立ち止まって観ることはできませんでしたが、全面金箔貼りの金閣寺が太陽の光で輝き、本当にきれいでした。



<龍安寺(7番目)>

龍安寺では、白砂の波紋で波の重なりを表す枯山水庭園の特徴を有する「龍安寺の石庭」が有名です。この石庭は、まばらに15個の石が配置されていますが、どの位置から眺めても必ずどこかの1つの石が見えないように配置されています。「山水河原者(せんずいかわらもの)といわれる被差別民によって造られたという説もあります。石の数を「1つ、2つ、……」と数えている子どもたちもいました。授業で学習したことを実際に調べてみようとする態度はとても大切なことだと思います。



<東映太秦映画村(お弁当・見学)(8番目)>

修学旅行最後の訪問先は東映太秦映画村でした。予定よりも30分ほど早く到着したため、充分時間を確保することができました。到着後、最初に学級でまとまって記念撮影をしました。その後一人ひとりがお弁当をもらって、休憩室へと移動しました。休憩室がたまたまあいていたので、みんなでそろって昼食をいただくことができました。

昼食後はグループ別に分散して、さまざまなアトラクションを楽しんだり、おみやげを買ったりしていました。帰るのが名残惜しいのか「もう一泊したい」と、私に話をしに来てくれた子どももいました。子どもたちは本当に楽しく、充実した修学旅行の2日間を過ごしてくれたようでした。

<解散式>

学校に戻ると実行委員の進行のもと、解散式を行いました。私からは、「約束を守っていた3つの『時間を守ること』『健康で無事に帰ってくること』『道徳的な判断をすること』は、概ね守ることができました。皆さんにとって、充実した中身のある修学旅行にすることができたのではないかと思います。修学旅行の2日間を通し、なかまと寝食を共にし一緒に行動することで、お互いの絆が深まったのではないかと思います。6年生の皆さん、本当にお疲れさまでした」といった話をしました。



◇最後に・・・◇

保護者の皆様、子どもたちの送迎へのご協力、本当にありがとうございました。子どもたちは迎えを待つことなく、スムーズに帰宅できたようです。心から感謝いたします。

『今こそ出発点』 修学旅行で和尚さんといっしょに唱えた言葉

人生とは毎日が訓練である	わたくし自身の訓練の場である	失敗もできる訓練の場である
生きているを喜ぶ訓練の場である	今この幸せを喜ぶこともなく	いつどこで幸せになれるか
この喜びをもとに全力で進めよう	わたくし自身の将来は	今この瞬間ここにある
今ここで頑張らずにいつ頑張る		(京都大仙院 尾関 宋園)

運動会についての今後の延期に関する方向性について

4年1組が学級閉鎖となったことを受け、11月2日(水)の運動会を11月8日(火)へと延期させていただきました。11月8日(火)に学級・学年閉鎖が起こった場合、次のように対応しますので、ご了承ください。

該当する低・中・高学年部のみ、運動会を延期し、残りの学年部の運動会を行う(午前中開催)。 ⇒低・中・高学年部のまとまりに分け、1時間半程度ずつこれまでやってきた成果を観ていただく。 学級・学年閉鎖が起こった学年部については、後日発表会を設定し、観ていただく。

(文責 北住 昌文)